

東京国公だより 58号・関ブロック国公だより 9号

2024年5月21日 発行

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 国家公務関連労働組合関東ブロック協議会

メール [アドレス uematsu@tk-kokko.org](mailto:uematsu@tk-kokko.org) 東京国公 HP <http://tk-kokko.org/>

———今回は輸入価格と企業物価（企業間取引での物価）推移を見てみましょう！以下は円安が顕著になった、2022年以降の輸入物価、企業物価の推移です。———

- ①及び②は日銀「企業物価統計」からの対前年同月比の物価指数上昇率
- ③は総務省家計調査からの対前年同月比の消費者物価指数上昇率
- ④は日銀発表外国為替相場 * 月中中心円ドル相場—東京市場—

暦年と月	①輸入物価指数の対前年同月比	②企業物価指数対前年同月比	③消費者物価指数対前年同月比	④円ドル相場 月中平均
2022年 1月	35.4%	9.1%	0.2%	114.83
2月	33.0%	9.4%	0.6%	115.2
3月	32.6%	9.4%	0.8%	118.51
4月	42.6%	9.9%	2.1%	126.04
5月	44.9%	9.4%	2.1%	128.78
6月	48.3%	9.6%	2.2%	133.86
7月	49.2%	9.3%	2.4%	136.63
8月	42.8%	9.6%	2.8%	135.24
9月	48.5%	10.3%	3.0%	143.14
10月	42.3%	9.7%	3.6%	147.01
11月	28.0%	9.8%	3.7%	142.44
12月	22.2%	10.5%	4.0%	134.93
2023年 1月	17.0%	9.5%	4.2%	130.2
2月	15.0%	8.3%	3.1%	132.68
3月	9.4%	7.4%	3.1%	133.85
4月	▼3.7%	5.8%	3.4%	133.33
5月	▼5.4%	5.1%	3.2%	137.37
6月	▼11.7%	4.1%	3.3%	141.19
7月	▼14.7%	3.6%	3.1%	141.21
8月	▼11.7%	3.4%	3.1%	144.77
9月	▼14.3%	2.2%	2.8%	147.67
10月	▼11.8%	1.1%	2.9%	149.53
11月	▼6.4%	0.5%	2.5%	149.83
12月	▼5.0%	0.3%	2.3%	144.07
2024年 1月	▼0.2%	0.3%	2.0%	146.57
2月	0.2%	0.8%	2.8%	149.42
3月	1.4%	0.9%	2.6%	149.63
4月	6.4% (速報)	0.9 (速報)	(5/24 発表予定)	153.43

各種統計が警告！ 日本経済総崩れの様相を示す！ その②

円安・物価高騰・実質賃金低下・消費は低迷

解説は裏面に

円安はまず輸入物価を引き上げる

円安はまずは輸入価格を引き上げます。当然です。輸入品はドルで買い付けますから、支払いは円を売ってドルを買わなければなりませんので、円安・ドル高では、支払額が大きくなり、その分は商品価格に転嫁され、輸入価格が引き上げられるわけです。

【支払いは何故ドル？】

円は残念ながら世界では基軸通貨にはなっていません。輸出者は世界で通用する米ドルでの支払いを求めてきます。財務省関税局等の統計では、輸入契約の約70%がドル建て決済との発表です。

円安が止まりません

表は2022年1月～2024年4月まで毎月の円ドル相場（東京市場）です。前月比レベルでは「円高」という現象も見られますが、一貫して「円安基調」ということが良くわかります。（円安は前回指摘通り2021年から続いています）多くのメディアや経済評論家は、自説に合う「後付けて的なる理由」をつけては、円ドル相場をあれこれ説明してきました。「円安終止」説もかなりありました。しかし東京国公事務局が指摘してきた通り円安は収まりそうにはありません。

輸入物価は落ち着いた？表では昨年の4月以降では対前年同月比マイナス続きですが、

全く落ち着いてはいません。まずマイナス▼は対前年同月と比べてです。正確には輸入物価指数での比較が大事です。2020年平均を100とした場合、2022年は169.1、2023年は161.2、2024年（現時点まで）は163.6です。そして直近2024年4月では166.9です。2022年比で若干数値が下がったのは、コロナ解除で原材料が大高騰した時点から国際的に多少値下がりした結果です。

企業物価高→消費者物価

商品の輸入は多くが卸ですから、まずは企業間での売買です。卸業者と小売り業者の取引ですから、輸入価格上昇分は上乘されて売買され、企業物価は上がります。最後は小売業者と私たちの売買です。卸売り価格は当然小売価格に反映します。

次回はなぜ円安が起きているか、これが収まるかです。異次元金融緩和をやめる方針を！国民の懐が温まる経済政策！これがカギです！